

神流町第 700 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

群馬県神流町長 宮前欽十郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別添資料により提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

群馬県神流町

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

本町は最寄りの高速インターまでの主所用時間が非常にながく、

- ・藤岡インターまで約1時間、
 - ・下仁田インターまで約1時間
- であり、高速交通時代に最も遅れをとっており、過疎(若者・生産人口の流出等)に拍車がかかっている。
最寄りインターまで、30分ほどで行ける道路の改良が住民の悲願であります。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

群馬県神流町

○現状	○課題
(1) 最寄インターである藤岡インターまでの所用時間が約1時間である。 (2) 本町から町外へ通勤している人が約百数十人にのぼり、毎日湾曲したカーブの多い道路を通勤し、危険度と疲労の度合いは相당한負担である。	(1) 最寄りインターまでの所用時間の短縮が課題である。30分ほどで高速に乗れる生活圏の創出が強く望まれている。 (2) R462号の改良が遅々として進まず、本町に居住したくても無理があり、都市部に転出してしまいうケースが多く、町の過疎・高齢化に拍車がかかっているのはもとより、町機能の存続が危ぶまれる事態にながることが懸念される。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

様式③

群馬県神流町

生活圏の道路が改良され、若者が定住し、ＪターンやＩターンの転入者がすこしでも増え、地域が元氣になり中山間地域が行政の灯を消さないで住民の福祉の向上に寄与することができるようになりたい。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④
群馬県神流町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	R462号、R299号の改良	道路事情の改善により、身近な生活圏が拡大し、安全安心な社会が創出された場合、若者をはじめ、町外への通勤者の定住が図られる。このことによって、町の活性化に寄与することはもちろんのこと、もともと町に末永く住みたい希望をもっている人々が安心して生活できる社会が創出される。	